

遺跡ボランティアの交流



▲陸平貝塚でのボランティア活動紹介の様子

さる11月5日（水）、つくば市の小田城跡歴史のひろばで案内ボランティア活動をおこなっている「常陸小田城親衛隊の会」が陸平貝塚見学に訪れ、陸平をヨイショする会とも交流しました。小田城跡は鎌倉時代から戦国時代に常陸国南部に勢力をもった小田氏の居城跡で、国指定史跡です。発掘調査の成果をもとに遺構復元広場と案内所が整備され、案内所では小田城と小田氏を紹介した展示室があります。陸平をヨイショする会の沼崎正美副会長が、会の活動を中心に説明し、職員とともに陸平貝塚を案内しました。当日は、陸平貝塚公園エリア内での炭焼き活動の様子もみていただきました。

遺跡にかかわるボランティアといってもその活動内容や関わり方はさまざまですが、お互いの活動を知る機会はボランティア活動にとって参考になります。現在多くの遺跡でボランティアの活躍がみられます。遺跡はその地域の歴史を知る貴重な文化財ですが、地域の人びとが関心を寄せ守り続けることは、未来に伝えていくうえでとても大切なことです。

おかだいら縄文フェスタ2025を 開催しました!

さる10月11日(土)、陸平貝塚公園では秋の体験イベント「おかだいら縄文フェスタ2025」を開催しました。当日は雨模様のため野外で実施する体験の一部を少し変更することとなりましたが、多くの人々が来場しさまざまな体験を楽しんでいる様子がみられました。人気の弓矢体験は子どもだけでなく大人も夢中になり、的に矢が当たるたび歓声があがりました。土器を作りたくて来た人や縄文クッキー作りのリピーター、県外からの来場者もありました。自分で好きな材料を炭にする花炭作り、まが玉や折り紙、自分で抹茶を茶筌でシャカシャカ動かしていただく体験もありました。また、イベントにあわせて詠まれた俚謡や俳句の短冊の数々が文化財センター内に飾られました。文化財センター展示室ではイベントに併せて新登録文化財紹介展「裁許絵図と翁面」を開催し、展示をみながら答えるクイズなどもおこないました。

次回の体験イベントは来年のゴールデンウィーク中に開催する予定です。



▲縄文クッキー作り



▲子供も大人も弓矢体験



▲折り紙コーナー



▲抹茶体験



▲まが玉作り



▲体験の様子



▲展示見学



▲土器作り



▲里山交流館で花炭作り

“みほ”産業文化 フェスティバルで

陸平貝塚をPR

さる11月3日(月)に開催された第48回“みほ”産業文化フェスティバルでは、小中学生や陸平をヨイショする会が陸平貝塚をさまざまなかたちでPRしてくれました。

美浦小学校では、美浦村商工会と連携して出店した美浦小カンパニーのなかで「陸平縄文クッキー」を販売しました。

「陸平縄文クッキー」は、陸平をヨイショする会の縄文食研究部会が陸平貝塚ならではのドングリを使ったクッキーを商品化できないかと企画開発に取り組み、食工房JUSTさんの協力を得て商品として販売できることとなりました。

このクッキーの特徴は、陸平貝塚を象徴する双口土器に形作られていることと、縄文クッキー作り体験にちなんでドングリの粉末が入っていることです。産業文化フェスティバルが陸平縄文クッキーのお披露目となり、好評のうちに完売しました。

美浦中3年生は総合的な学習の時間を美浦村の活性化というテーマで取り組んでいます。陸平貝塚を取り上げた班は、どうしたら陸平貝塚を知ってもらえるか、文化財センターから話を聞くなど自分たちのアイデア実現にむけて準備してきました。縄文クッキーや土笛、まが玉を作る体験や発掘をイメージした宝探しなど参加



▲陸平縄文クッキー

型の内容を出店ブースでおこないながら陸平貝塚をPRしてくれました。

一方、中央公民館ロビーにおいては創作活動による作品の数々が展示されていましたが、陸平をヨイショする会の縄文土器研究部会は会の発足30周年を記念し、「陸平縄文クッキー」でもモデルにした双口土器を制作して展示しました。

ご覧になった方も多いと思いますが、本物の土器の3倍の大きさで作ったひときわ大きな土器です。展示を見に来た人も思わず足をとめて見ていました。この土器は11月中、中央公民館ロビーに引き続き展示されました。



▲陸平貝塚出土双口土器をモデルにした作品

(本物と同じ大きさに作った双口土器(左)と並べるとその大きさを実感)

俚謡

おかだいら文芸

タブの木立に白ゆりも咲き人のふる里守る陸平

猛暑だけれど秋風吹いて心さわやか陸の上

美浦の日暮れに黄金の波が揺れて実りの秋が来る

日和自慢の音頭でたたえ次代繋げる陸平

眠る貝塚縄文陸平を古偲んで訪ね行く

美浦のお宝数々あれど歴史いちばん陸平

白い貝殻縄文人の遠い古夢しのぶ

注意イノシシ立札見つめ行こか戻ろか陸平

二胡とケーナの調べに乗せて陸平の小鳥が響き合う

セミの抜け殻拾いて返す道の草むら下校の子

亡夫の分まで生きると決めて目指す百歳山高し

青い茹で豆お酒のつまみ今日も親父は泣き上戸

霞浦の風から黄金の香り今年豊作力湧く

美浦の俚謡の文化の薫り後の百年うたい継ぐ

無事に稲刈新米手にし苦労いずこに父の笑み

日本列島災害続き一時忘れて文化祭

俳句

秋空に記念事業の土器つくり

巡る秋陸平の再生三十年

縄文の遺跡を照らす星月夜

草刈機の響く残暑の陸平の道

子の笑みとどنگりクッキー焼く唄

縄文の貝殻ひとつわらうかな

皆既月食古代の人の月恐れ

稲穂垂れ桶で育てる古代米

満月や草のうねりと風の音

涼風や余生一本の道標

万博の土産はなにか隣のみ

八千代

葉子

律華

青蓮

亜子

朋香

泰弘

一步

悠美

秀子

笑子

草実

夏雲

鯨道

悦子

久美

松葉 統子

増尾 尚子

村崎 典子

長田 敏笑

中島 輝子

市川 紀行

山口 美代子

海道 民子

高柳 幸子

田島 早苗

新宮 和子

「おかだいら縄文フェスタ2025」展示作品（日和吟社・美浦俳句連盟）

梅朝基礎落語

解説つきで落語を楽しみましょう！

予約不要

入場無料

◆日にち 12月7日（日）

◆開演 午後1時30分から

◆場所 文化財センター

◆出演 好文亭梅朝

※当日、直接文化財センターにお越しください



三門松づくり

自分で作った門松で
新しい年をむかえましょう

要申込

◆日にち 12月25日（木）

◆時間 ①午前10時 ②午後1時

※①②とも内容同じ

◆場所 文化財センター

◆募集人数 午前午後各6名（先着）

◆体験料 500円

◆申込受付 文化財センター（12月10日から）



<情報をお寄せください！>

美浦村の歴史に関する資料を探しています

文化財センターでは、地域の歴史に関する資料を収集・保存し、後世に伝える活動を行っています。美浦村の歴史に関する古文書や絵図、地図、写真、古い襖（古文書が使われている場合があります。）などがありましたら、お気軽に文化財センターへご一報ください。



また、鹿島海軍航空隊に関する体験や写真、情報などもお寄せください。常時受付中です。

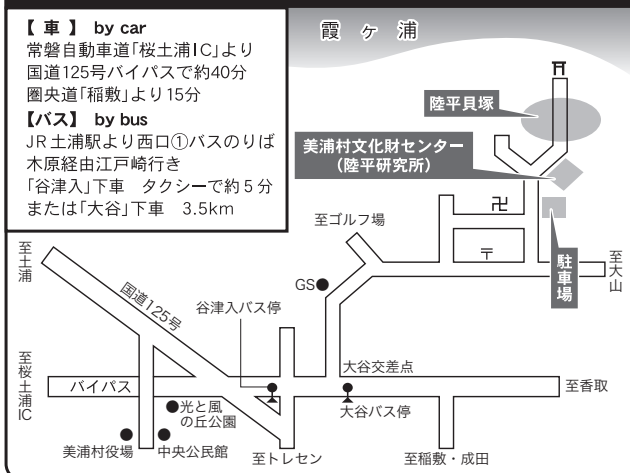
陸平貝塚公園までの交通アクセス

【車】 by car

常盤自動車道「桜土浦IC」より
国道125号バイパスで約40分
圏央道「稲敷」より15分

【バス】 by bus

JR土浦駅より西口①バスのりば
木原経由江戸崎行き
「谷津入」下車 タクシーで約5分
または「大谷」下車 3.5km



◆体験申込・お問合せは、文化財センターへ ☎029-886-0291